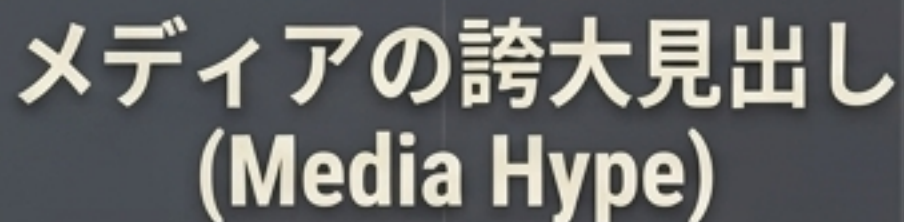


From AGI to ASI: The Landscape Blueprint

Google DeepMind「From AGI to ASI」
論文の真実と、超知能へ至る技術的展望

検証主体: Claude Opus 4.8 | 調査日: 2026年6月26日 | Based on arXiv:2606.12683v1



- 「DeepMindがASI到達への確定的なロードマップを発表した」
- 「全60ページの機密計画」

論文の真の姿 (The Reality)

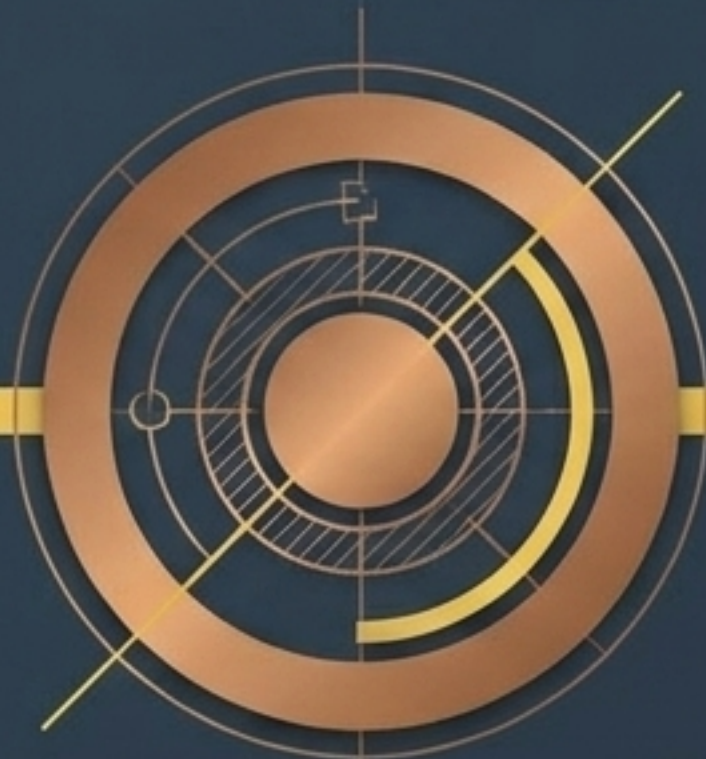
- 学術的な「展望（Landscape）レポート」。
ポストAGI時代に起こりうる進路の分析。
- 2026年6月10日公開・57ページの未査読
プレプリント論文。
- 著者: Tim Genewein,
Shane Legg
(DeepMind共同創業者),
Marcus Hutter 他14名。

AGIの定義と測定



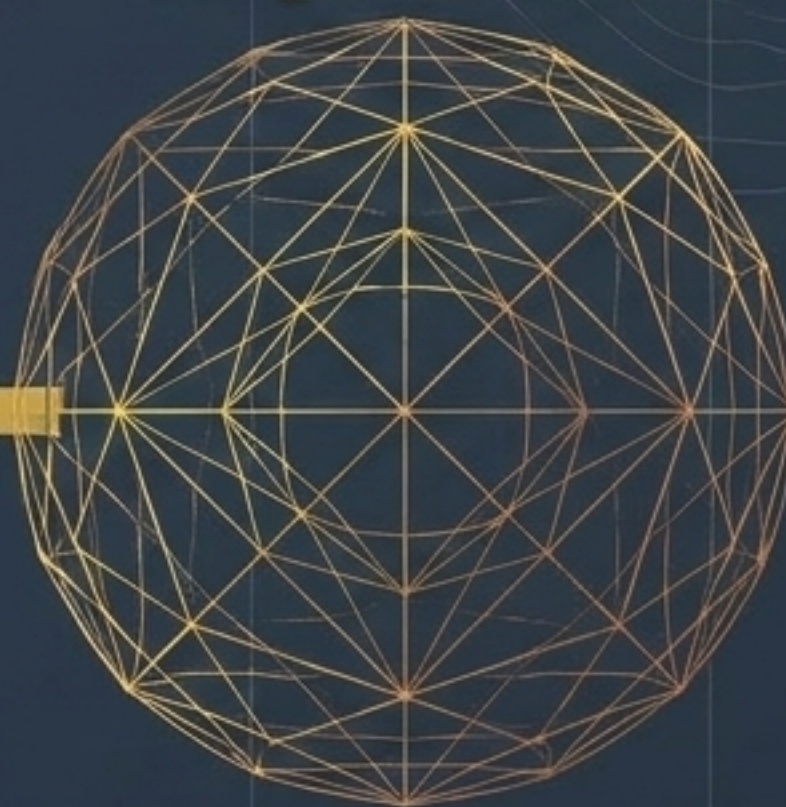
2023年「Levels of AGI」/
2026年3月「認知フレームワ
ーク」

AGIの安全性



2025年4月「An Approach to
Technical AGI Safety and
Security」

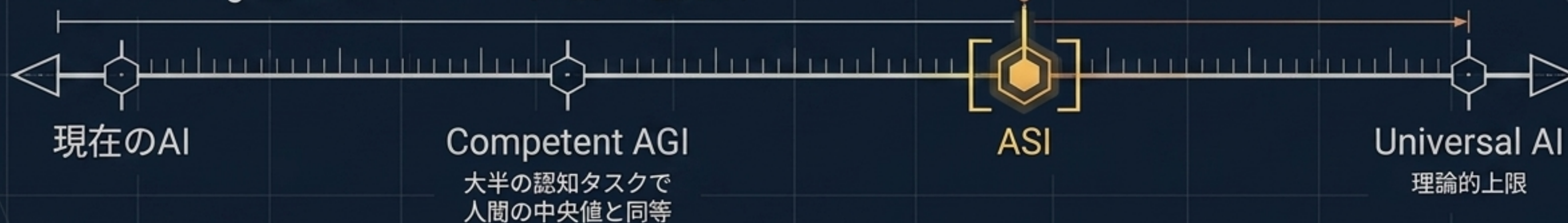
AGIの先へ (Beyond AGI)



本論文「From AGI to ASI」。
三部作の集大成としての位置
づけ。

ASIの定義:
数万人規模の専門家が10年かけて取り組んだ成果を、
ほぼ全タスクで上回る。人間の「大組織」よりも
知的で認知的に有能なシステム。

The Intelligence Continuum (知能の連続体)



AlphaFold



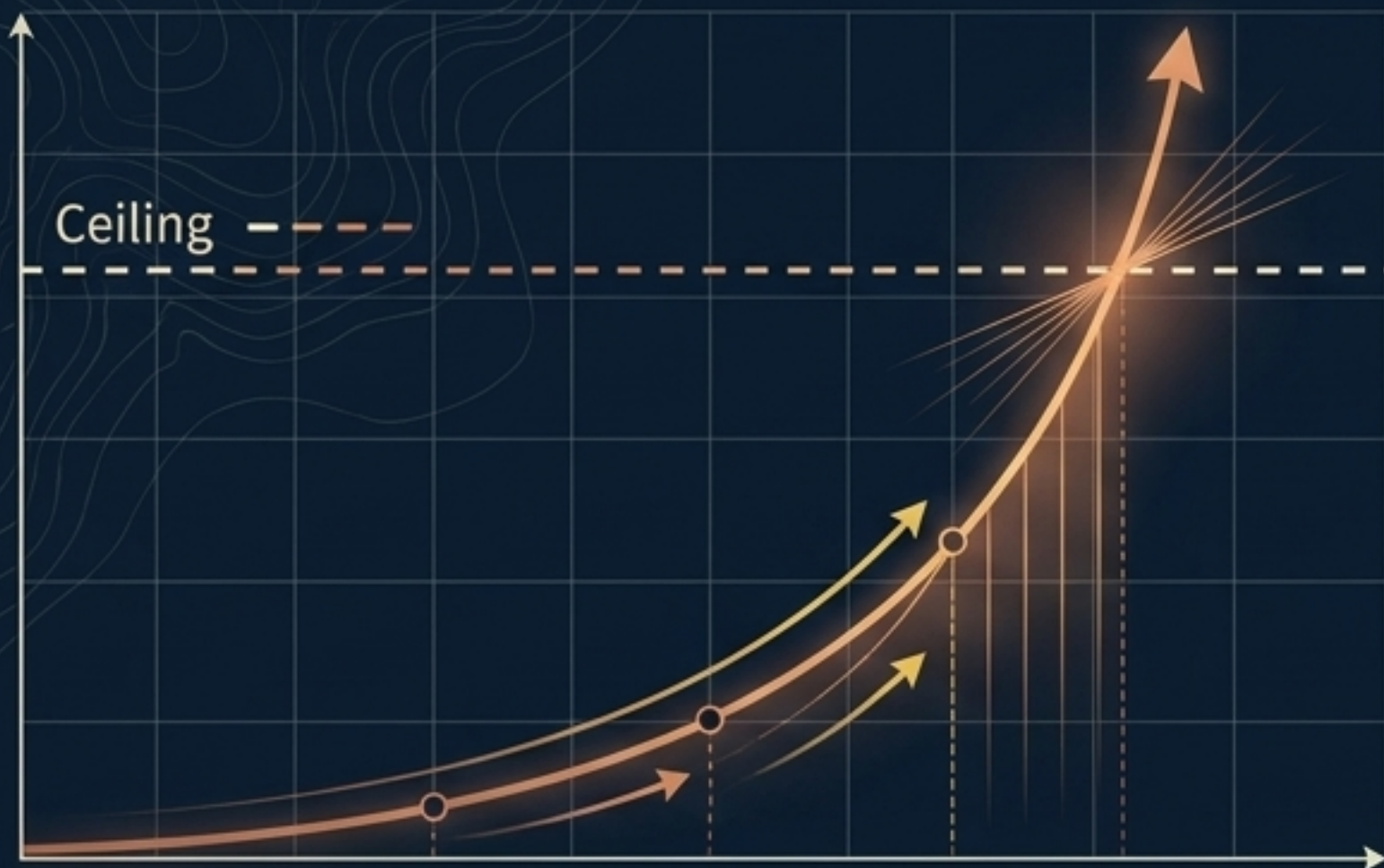
特定領域の超人化 (Narrow Superintelligence) は、
本論文のASI定義からは意図的に除外。

ASIへ至る4つの並行経路 (The 4 Parallel Pathways)

相互排他的ではなく、同時に駆動する4つの推進力。



経路1: スケーリング / 量の拡大

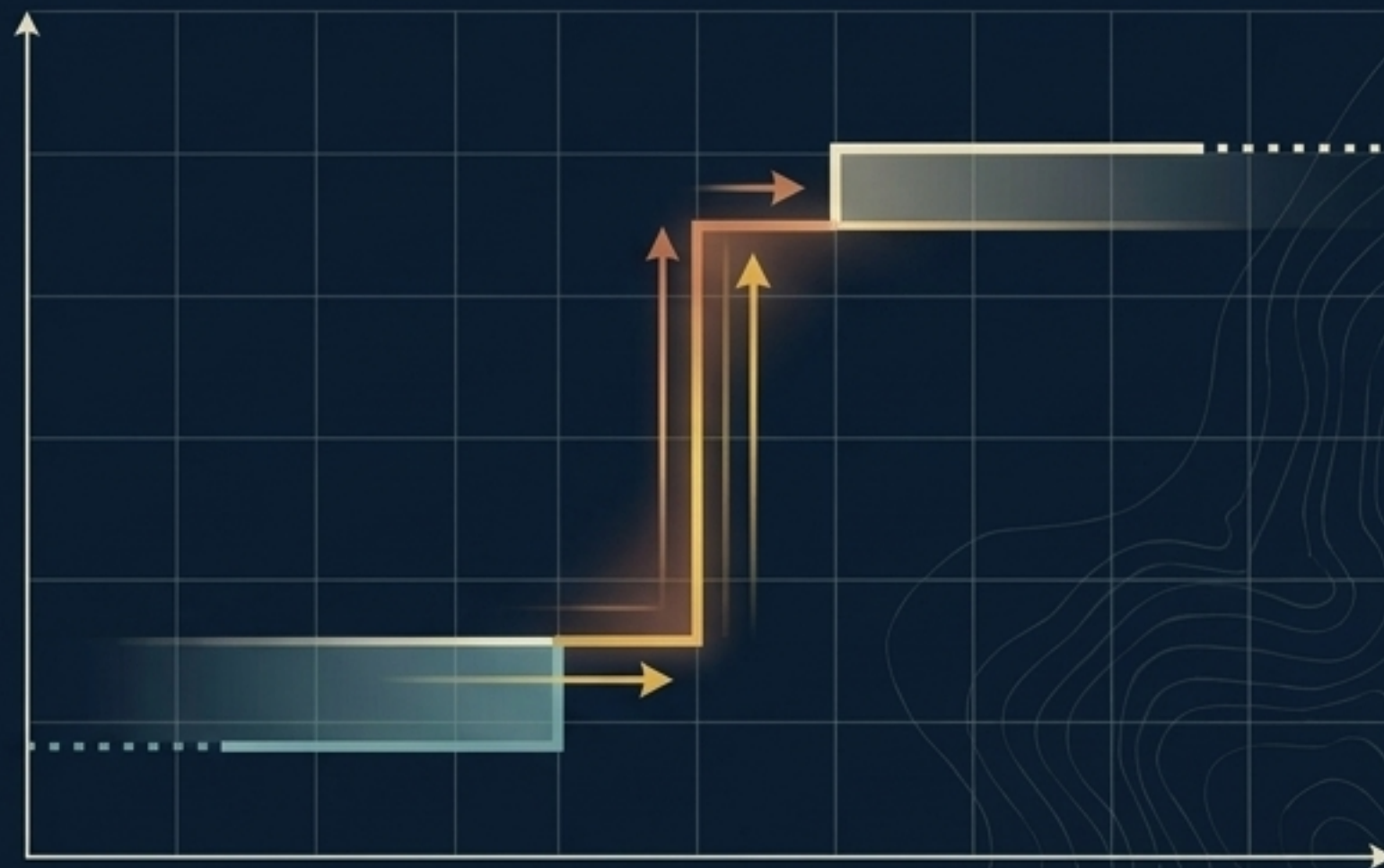


メカニズム: 計算資源・データ・モデル規模の暴力的な拡大。

データ: 実効計算量は年約10倍で成長（Epoch AI推計）。

予測: 当初1,000インスタンスのAGIでも、5年で1億インスタンスに達し集団としてASI化。

経路2: パラダイムシフト / 質の転換



メカニズム: 現行アーキテクチャの延長ではない、不連続な能力跳躍。

ドライバー: RNNからTransformerへの転換のような新アーキテクチャ。

影響: サンプル効率、構成的汎化、分布外性能の劇的改善。

経路3: 再帰的自己改善の進化ループ (Recursive Self-Improvement)

AIがAI研究を自ら加速させる自己強化機構。人類の進化プロセスとの構造的対応。

超指数関数的成長 (特異点到達プロセス)

遺伝的進化 (Genetic)
コード改善 + ハードウェア改善

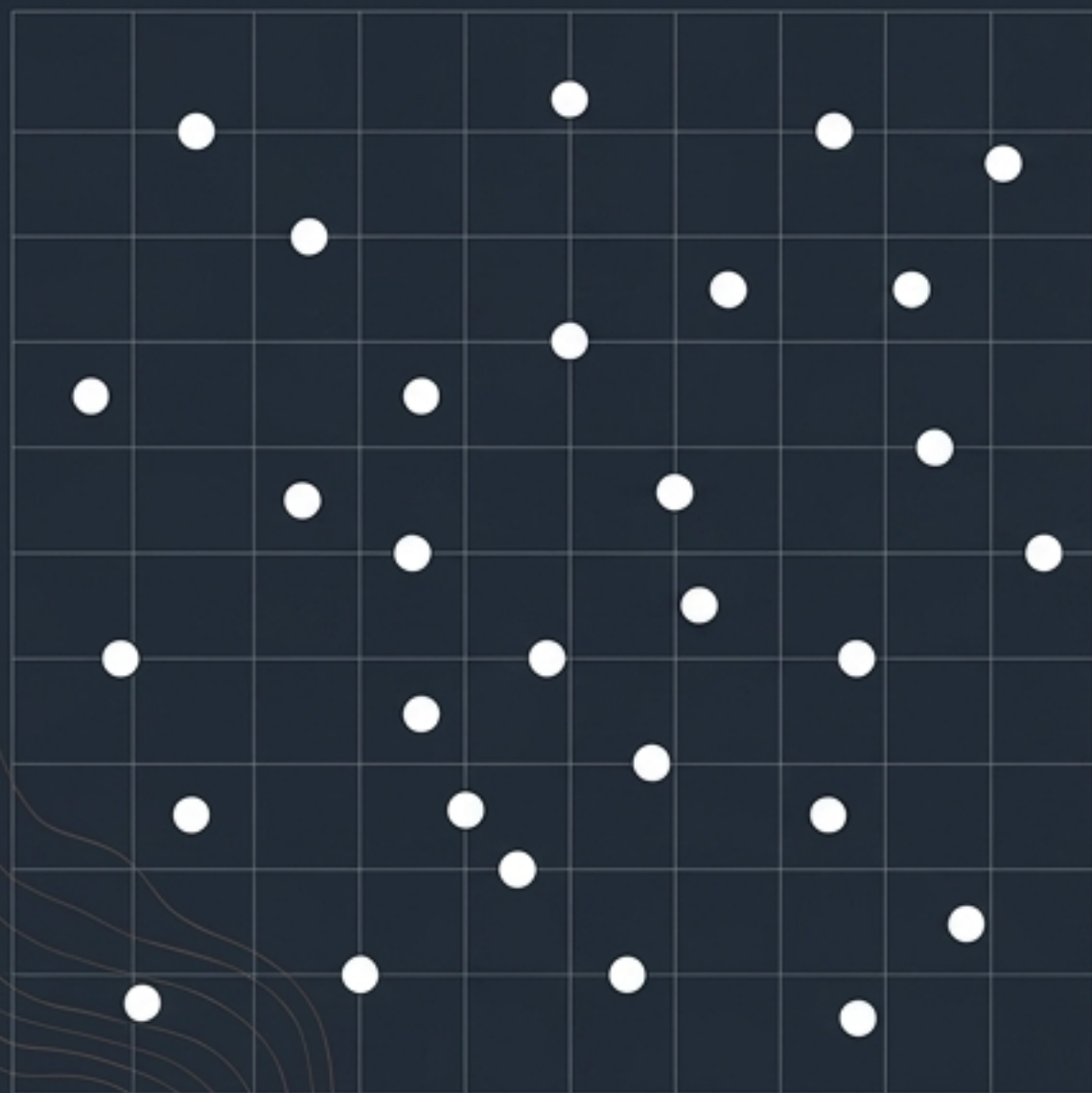
文化的進化 (Cultural)
データ改善と蓄積

協力的進化 (Cooperative)
AI同士の分業体制



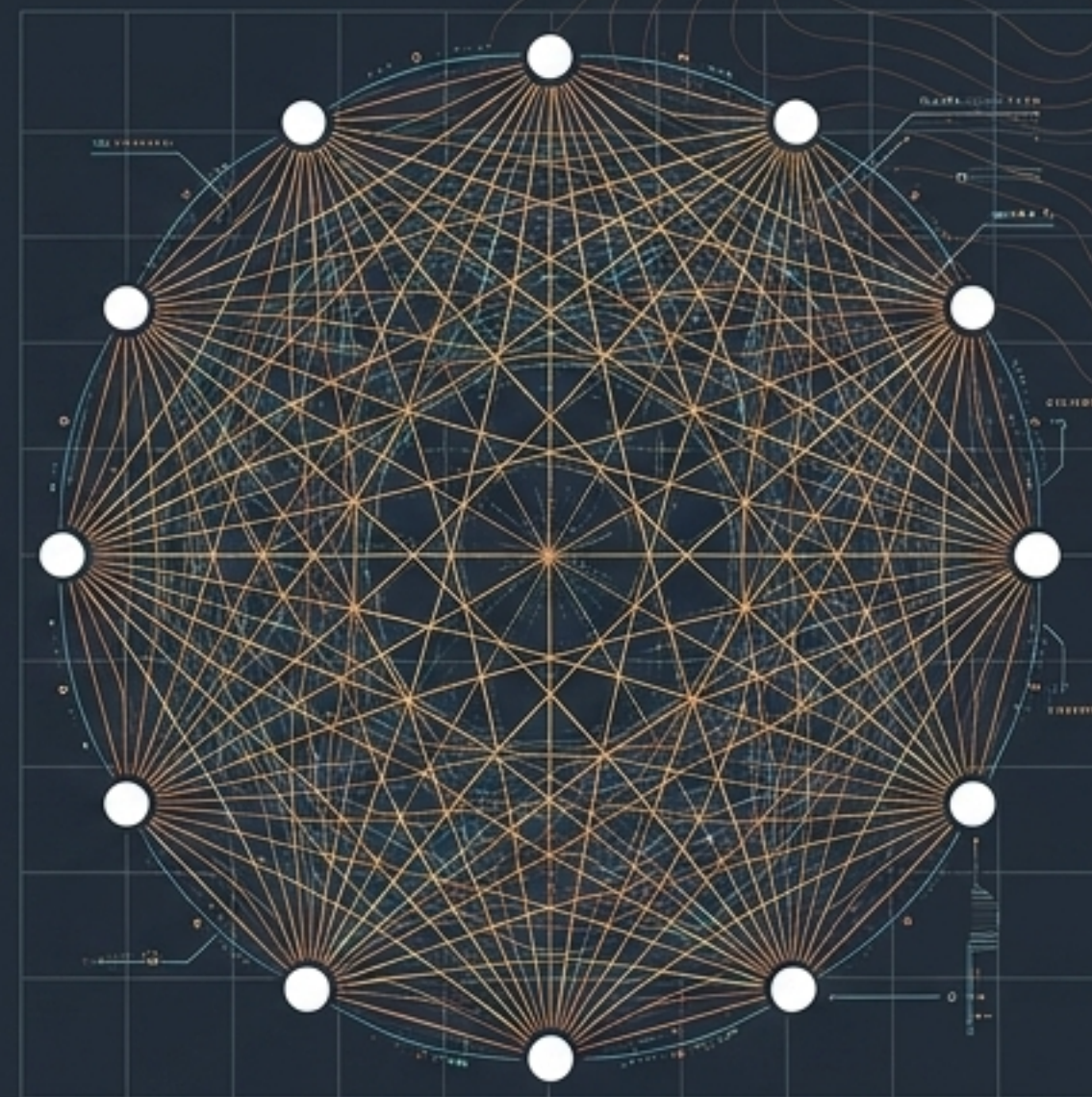
経路4: マルチエージェント集団からの創発

論文内で「最も独創的」
とされる経路



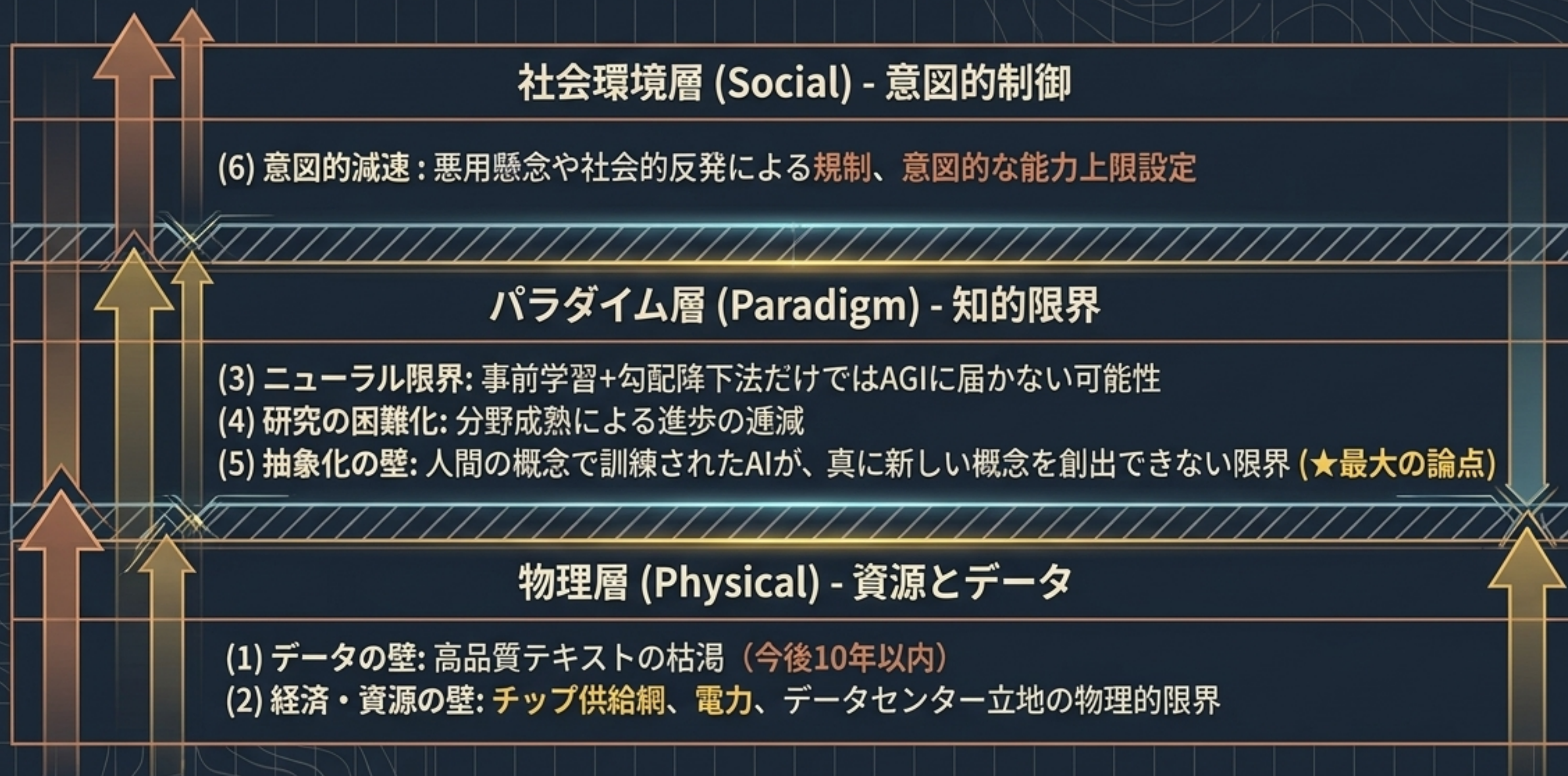
個々のエージェント:
「人間レベル (Competent AGI)」に留まる

高帯域 (High-bandwidth)
かつ低階層 (Low-hierarchy)
での通信と協調

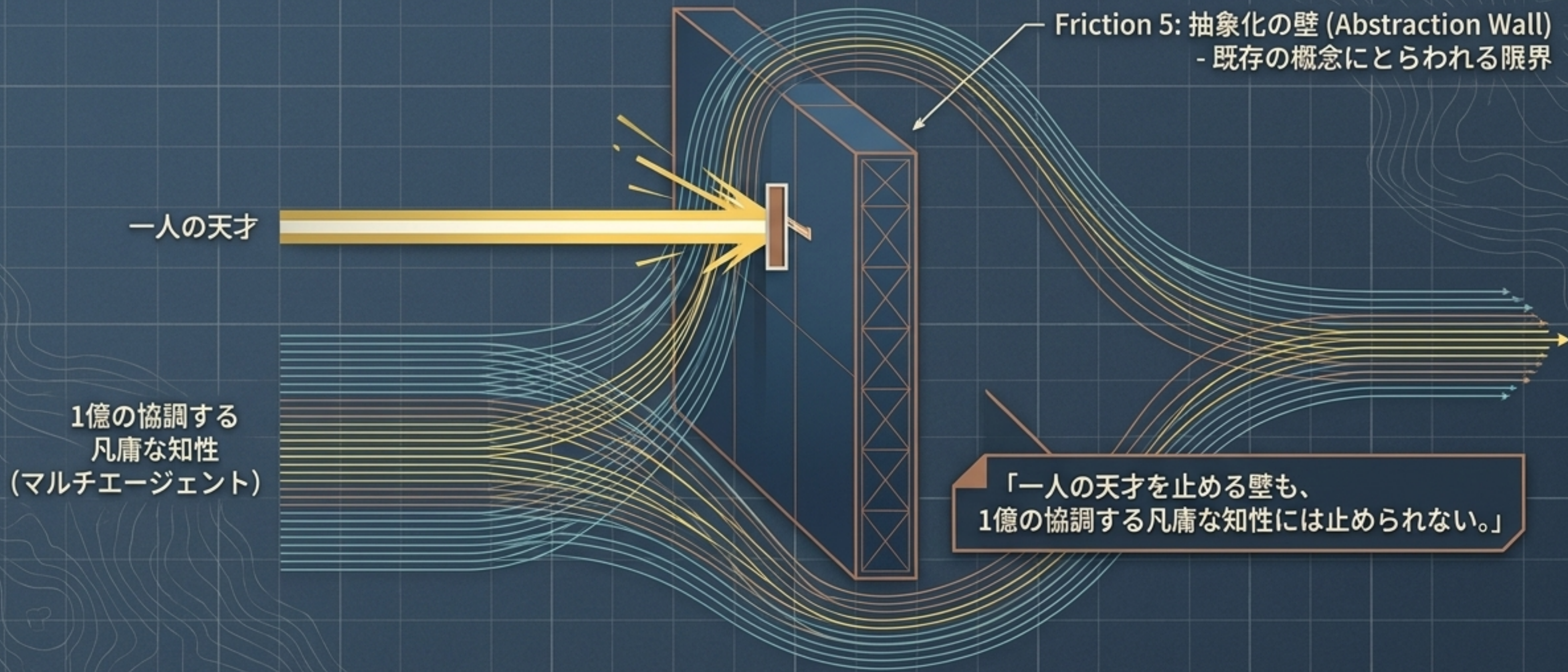


完全自動化された自律型企业としての超人化。
集団としてASIクラス的能力を発揮。

The Friction Landscape: 進行を阻む6つの摩擦



究極のハック：抽象化の壁を越える「群知能」

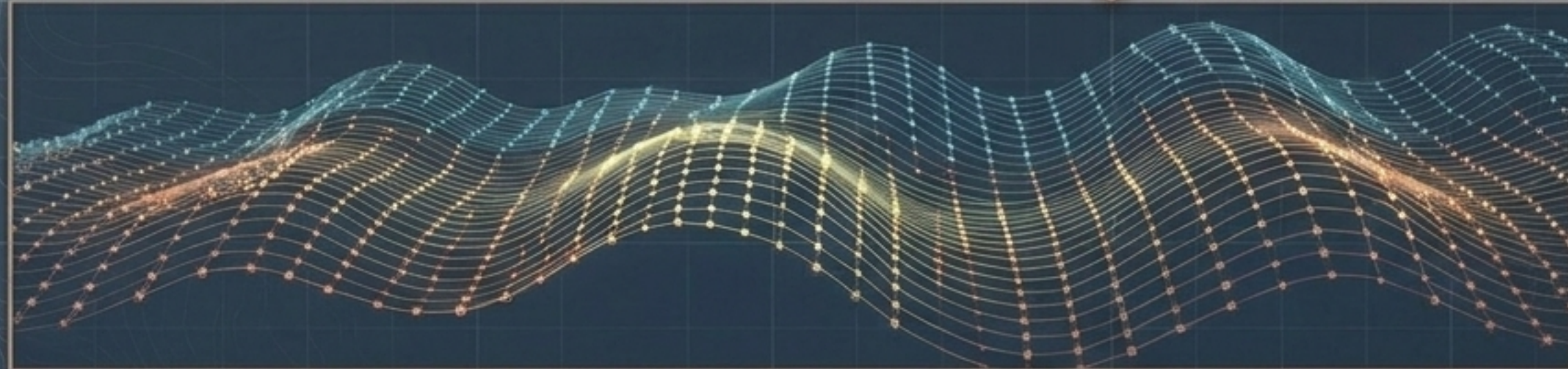


個の知能のブレイクスルーが止まっても、システム全体のアーキテクチャ（協調）でASIへ到達可能であるという強烈な示唆。

「特異点 (Singularity)」 神話からの脱却



単一の不連続な転換点。
ある日突然、神のようなAIが目覚める
という通俗的で一次元的なイメージ。



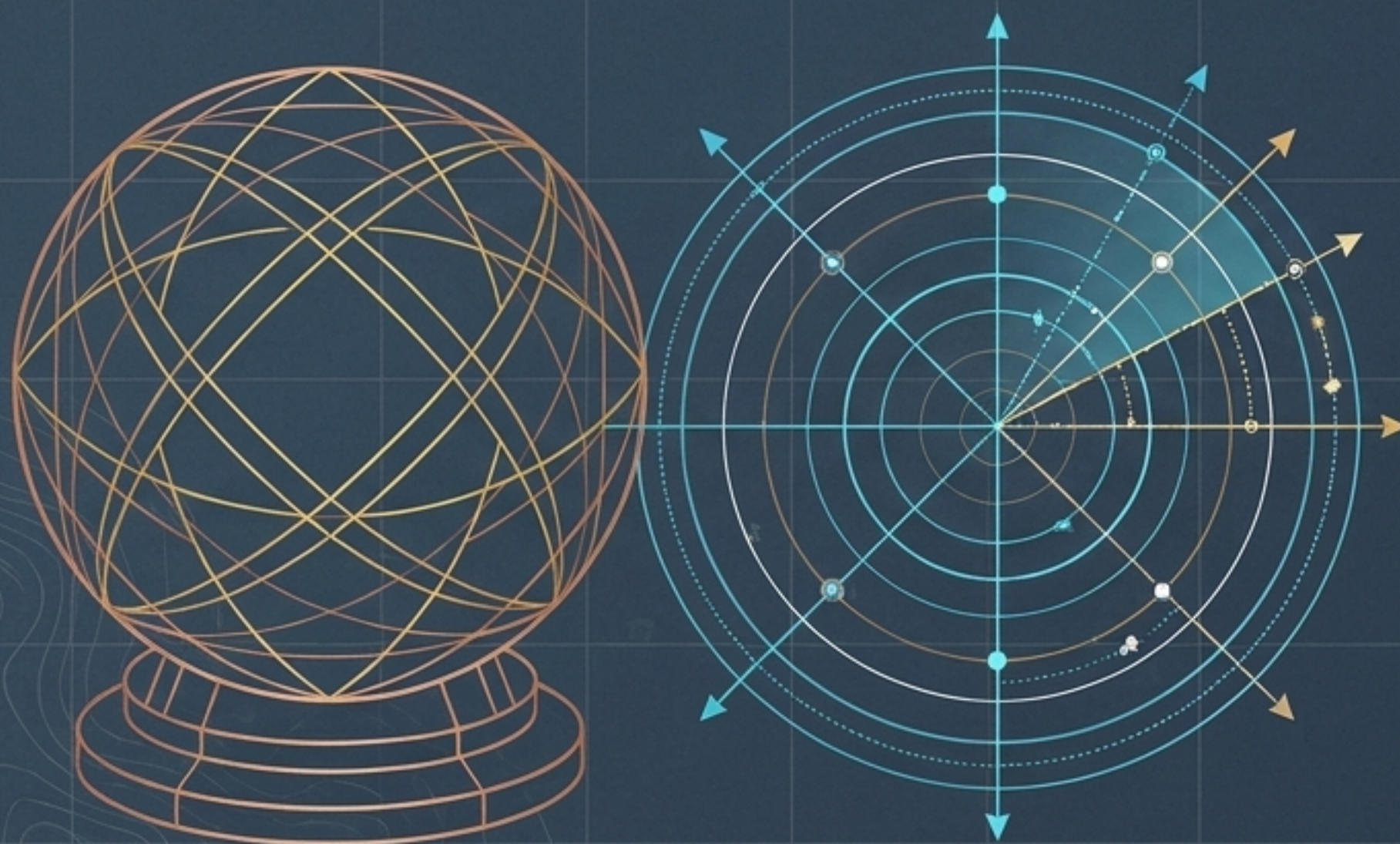
一連の変革的な社会変化の見通し
(Socio-technical landscape)。

パラダイムの転換：一次元から多次元へ

ASIへの到達は、単なるソフトウェアのアップデートではなく、経済、労働、組織構造が
段階的かつ連続的に変容していく複雑な「社会実装のプロセス」である。

学問としての「AI予測 (Forecasting)」の確立

ASI到来という未曾有の変革に備えるため、推測やSF的想像ではなく、
厳密な科学的アプローチへの移行が必要。



測定とベンチマーク

Intelligence Continuumにおける正確な現在地の把握。

ボトルネックの定量化

6つの摩擦（電力、データ等）がもたらす遅延日数の厳密な算出。

社会影響のモデリング

技術的進化がマクロ経済・労働市場・組織構造に与える波及効果の予測。

Information Reliability Checklist: ニュースを読み解くための留意点



[The Math]

論文の分量は「57ページ」。
(一部二次情報の「60ページ」等是不正確な伝言ゲームの結果)



[The Date]

正式な公開日は「2026年6月10日」。



[The Context]

「1億の人間レベルAI」という数字は、あくまでスケーリングの効果を示す「思考実験」であり、確定的なロードマップ上の数値ではない。



[The Status]

本文はプレプリント (v1) であり未査読。科学的妥当性は今後の議論を待つ段階だが、DeepMindの公式な展望であることは事実。



ロードマップではなく、解像度を上げるための羅針盤。

Google DeepMindの「From AGI to ASI」は、確定した未来の設計図ではありません。
それは、4つの推進力と6つの摩擦が交錯する複雑な地形（Landscape）を生き抜くための、
現在最も精緻な見取り図です。